

明石工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	建築設計演習Ⅱ B	
科目基礎情報							
科目番号	0035			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建築学科			対象学年	2		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	日本建築学会編『コンパクト建築設計資料集成』丸善・川北健雄他『初めての建築設計ステップ・バイ・ステップ』彰国社・フランス・D.K. チン『建築のかたちと空間をデザインする』彰国社・その他、演習課題の内容に応じた資料を適宜配布する						
担当教員	大塚 毅彦,水島 あかね,中村 紀章						
到達目標							
1)立体的な発想とその表現ができる。 2)与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキスができる。 3)敷地と周辺地域および景観などに配慮し、配置、意匠を検討できる。 4)配置図、各階平面図、立面図、断面図、さらに模型またはパースなどを製作できる。 5)講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	的確に立体的な発想とその表現ができる。		立体的な発想とその表現ができる。		)立体的な発想とその表現ができない。		
評価項目2	的確に動線・ゾーニングのエスキスができる。		動線・ゾーニングのエスキスができる。		動線・ゾーニングのエスキスができない。		
評価項目3	的確に周辺地域および景観などに配慮した設計ができる。		周辺地域および景観などに配慮した設計ができる。		周辺地域および景観などに配慮した設計ができない。		
評価項目4	的確に図面および模型またはパースなどを製作できる。		図面および模型またはパースなどを製作できる。		図面および模型またはパースなどを製作できない。		
評価項目5	的確にコンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。		コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。		コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (F) 学習・教育到達度目標 (H)							
教育方法等							
概要	本科目では、比較的簡単な不特定多数の人々が利用する施設の設計を通じて、敷地のコンテキストを読み取る能力を身につけ、基本的な設計の手順を理解することを目的とする。 即日設計は、現在設計事務所を主宰し、最新の建築設計に従事している教員（中村）が、その知識や経験を活かして演習形式で行う。						
授業の進め方・方法	敷地調査から始まり、敷地模型、ボリューム模型、機能の検討、空間構成、細部の検討、図面模型の制作、講評会という具合に段階を踏みながら設計手法を修得する。本授業は複数教員が担当し、適宜、講義やエスキス、講評などを行う。本授業形態は、敷地調査やグループワーク、レポート発表、プレゼンテーションなど、段階に応じて適切な方法をとる。						
注意点	本科目は授業で保証する学習時間と課題作成に必要な自己学習時間の総計が90時間に相当する学習内容である。教科書をよく読み、計画的に進め、提出期限を厳守すること。 また積極的に敷地に足を運んだり、類似施設の見学をしたりすること。また設計製図に適した道具の使い方を修得するようつとめること。目標を達成するためには、授業時間外に課題を行う必要がある。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/4以上の欠課						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	第1課題：オリエンテーション ため池ギャラリー課題説明&資料調査（水島・大塚）		この授業の進め方について理解する 全体スケジュールを理解する。地域情報を調べることができる		
		2週	第1課題：敷地を読む（1） 敷地調査& 敷地模型（水島・大塚）		調査記録を図や写真を用いてまとめて分析することができる グループで協力して敷地模型をつくることのできる		
		3週	第1課題：敷地を読む（2） 調査結果をグループで共有する（水島・大塚）		敷地分析の結果をグループで共有することのできる		
		4週	第1課題：プログラム（機能）を考える 展示計画/プログラムを考える（水島・大塚）		展示計画と機能図を作成することのできる		
		5週	第1課題：建物をボリュームで考える 敷地模型を用いてボリューム模型を作成する（水島・大塚）		ボリューム模型を作成し、ボリュームで検討することのできる		
		6週	第1課題：空間の囲み方・支え方考える（1） ボリューム検討したものを図面にする（水島・大塚）		平面図・立面図・断面図を作成することのできる		
		7週	第1課題：空間の囲み方・支え方考える（2） ボリューム検討したものを図面にする（水島・大塚）		平面図・立面図・断面図を作成することのできる		
		8週	第1課題：中間講評会 ボリューム模型と図面を提出し、講評を受ける（水島・大塚）		自分の考えを人に分かりやすく伝え、質問に的確に答えることのできる		
	4thQ	9週	第1課題：細部を考える 中間講評会で指摘された点を踏まえて、案を練り直す（水島・大塚）		講評を受けて平面図・立面図・断面図・アクソメ図を修正することのできる		
		10週	第1課題：完成図面を作成する 最終提出に向けて図面と模型を完成させる（水島・大塚）		正しい製図表現を用いて図面を作成し、模型で表現することのできる		

11週	第1課題：講評会（1） 模型と図面を提出し、講評を受ける（水島・大塚）	自分の考えを人に分かりやすく伝え、質問に的確に答えることができる
12週	第1課題：講評会（2） 模型と図面を提出し、講評を受ける（水島・大塚）	自分の考えを人に分かりやすく伝え、質問に的確に答えることができる
13週	第2課題：コンペ案の作成（水島・大塚）	短い時間でアイデアを形することができる
14週	第2課題：ミニレクチャー・コンペ案の発表（中村・水島・大塚）	自分の考えを人に分かりやすく伝え、質問に的確に答えることができる
15週	第2課題：コンペ案の講評（水島・大塚・中村）	自分の考えを人に分かりやすく伝え、質問に的確に答えることができる
16週	期末試験実施せず（コンペ図面の完成）	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	設計・製図	製図用具の特性を理解し、使用できる。	3	後8,後9,後10,後11
				線の描き分け(3種類程度)ができる。	3	後8,後9,後10,後11
				文字・寸法の記入を理解し、実践できる。	3	後8,後9,後10,後11
				建築の各種図面の意味を理解し、描けること。	3	後8,後9,後10,後11
				図面の種類別の各種図の配置を理解している。	3	後8,後9,後10,後11
				図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。	3	後7,後8,後9,後10,後11
				立体的な発想とその表現(例えば、正投影、単面投影、透視投影などを用い)ができる。	3	後7,後8,後9,後10,後11
				各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。	3	後2,後7,後8,後11
				与えられた条件をもとに、コンセプトがまとめられる。	3	後2,後5,後14,後15
				与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキスができる。	3	後4,後6,後7,後14,後15
				与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図などがかける。	3	後2,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後15
				設計した建築物の模型またはパースなどを製作できる。	3	後5,後8,後11
				講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。	3	後3,後8,後12,後13
				敷地と周辺地域および景観などに配慮し、配置、意匠を検討できる。	3	後2,後15
				建築の構成要素(形と空間の構成)について説明できる。	3	後5,後6,後7,後8,後12,後13
建築における形態(ものの形)について説明できる。	3	後5,後6,後7,後8,後12,後13				

評価割合

	エスキス・レポート	最終成果物	発表・講評会	合計
総合評価割合	20	70	10	100
基礎的能力	10	20	0	30
専門的能力	10	30	0	40
分野横断的能力	0	20	10	30